

議会広報

vol.10

かみいち



町児童クラブビーチボール大会

目次

新年挨拶 議会広報研修報告	……P2
12月定例会の要点	……P3
常任委員会報告	……P4
視察報告	……P5
一般質問 (議長を除く全11名)	……P6

管内視察報告	……P12
追跡レポート・シンポジウム	……P14
視点 (18歳の有権者)	……P15
町民の声・お知らせ	……P16



発行
上市町議会 2017年1月

編集
議会広報特別委員会

KAMIICHI

謹賀新年

上市町議会議長

松谷 英真



平成29年の新しい年を迎え、町民の皆様お慶び申しあげます。

昨年は大きな災害はありませんでしたが、遠く熊本では最大級の地震が発生しました。多くの方が被災されており、早期の復旧を願うものです。

また、上市町に高速道路のインターチェンジができることが決定しました。平成32年度の完成予定で準備が進められています。経済活動にも大きな期待をしています。

終わりに、町民の皆様にとつてより良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

公職選挙法の規定により、年賀状でのご挨拶ができませんので、ご了解ください。
上市町議会議員一同

山梨県昭和町にて研修してきました 10月26日



昭和町議会広報編集特別委員会の皆様と

毎年、東京シーエンプラスで開催される全国町村議会広報研修会参加翌日、昭和町にて議会広報作りの研修をして参りました。

昭和町の議会広報は現在まで171号発行され、過去には左記のような輝かしい実績をお持ちです。

- ・ 141号全国第2位
- ・ 149号全国最優秀賞
- ・ 164号全国第4位
- ・ 26年度6年連続山梨県最優秀賞



委員長挨拶

今回、その一端を学ばため昭和町を訪れ、『議会広報かみいち』の改善点を指摘して頂きました。昭和町議会広報編集特別委員会の皆様には、お忙しい中、ありがとうございます。ございました。

沢山の指摘を頂いた中で、今回より改善できる点は速やかに改善し、町民の皆様には、より一層受け入れ易く、またご愛読して頂ける紙面作りに努力して参りたいと思っております。

今後とも、『議会広報かみいち』を宜しくお願ひ申し上げます。

平成28年12月定例会の審議の要点

平成28年度 一般会計補正予算
4708万円を追加

総額97億2885万円

平成28年12月定例会は、12月7日から15日までの9日間に渡って開かれ、一般会計補正予算、下水道事業・後期高齢者医療事業・国民健康保険事業特別会計補正予算、水道事業・病院事業会計補正予算、条例の一部改正のほか、12月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員選任、費用弁償にかかる条例一部改正の議員提出議案及び地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書など、13件について審議を行った。議案はすべて原案の通り可決及び同意した。

その他、議長を除く全11名の議員が一般質問(P.6からP.13)に立った。

都市計画道路横越荒田線の
整備推進に1600万円



横越荒田線

町営住宅管理費1150万円

平成29年4月より費用弁償廃止、弔電・祝電の自粛。
政務活動費領収書や報告書をホームページ上に公開

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出

上市町固定資産評価審査委員会委員に酒井重人(飯坂新)氏を選任。
任期は平成28年12月22日から3年間

委員会の審議

総務教育 常任委員会

他市町村より長い
パソコン、スマホ
使用時間

消防署

Q ドクターヘリ出勤時、署が無人の時の対応は。

A 舟橋から応援に来る。舟橋も無人の場合は非番員を招集する。

総務課

Q 笠尻山の自家発電の故障とは。

A 突発的な故障である。

Q 子局のバッテリーは大丈夫か。

A 現在のバッテリーはH20年度から稼働。29年度の3カ年で順次更新予定。

Q 11月の二斉放送は。Jアラートの全国二斉訓練だった。

財務課

Q 都市計画道路が進まない理由は。

A 財政的なもの。計画も見直し作業に入り優先

順位をつけていく。Q 来年の予算編成は大丈夫か。

A 交付税4%カット。その分を臨時財政対策債で対応。去年より増える要素なし。

Q 法人税は。A 当初予算の2億7000万円確保の見込み。

Q 住宅建築数は。A H28上半期で36戸程度。

教育委員会事務局

Q 放課後児童クラブ、子ども教室の違いは。

A 前者は厚労省所管で保育所の延長に近い。後者は文科省所管で学習的要素が強い。

Q 放課後子ども教室の備品購入は適切か。

A 要望に応じて購入。一体的運営の中で使用する物を補助する。

Q 全国大会出場者の掲示板、横断幕の規定は。

A 基本的に激励金。国体等は正面玄関に掲示。横断幕は後援会での対応を望む。町費で見るのは国体と高校総体。

Q 放課後子ども教室を毎日やっている公民館職員

の負担はないか。A 別賃金を出している。胸を張って言えるように。寺子屋方式では国際競争力

で勝てない。機会があれば全国的に進んでいる

三鷹市の小中一貫校を視察したい。A 学力テストは授業の改善に使うのがベスト。

教員が教育に向かう姿勢に課題があり、いじめに関する認識が甘い学校もある事は学力テスト以前の問題。他市町村に比べて長いPCやスマホの使用は家庭での過ごし方に問題あり、国際競争力以前

の問題。小中統合は困難に連携を考えていきたい。先生の指導方法改善、家庭での時間など同時進行で進める。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

他市町に学んで
観光案内所を改善

福祉課

Q 放課後児童クラブの運営状況は。

A 保護者が就労等で日中家庭にいない児童につき、小学校1年生から6年生までを対象に受け入れている。今年度から長期休業（冬休みなど）期間中の受け入れ開始時刻を、午前8時からと早めた。

町民課

Q 個人番号（マイナンバー）カードを持つ必要性

や利便性もつと高まらなくて、カードの交付希望者が増えないのでは。

A 現在は身分証明書としての用途が主で、既に運転免許証を保有する方々にはあまり使う機会がない。将来的には保険

証などとして使える複合的な用途が想定されている。

産業課

Q 働く婦人の家の耐震工事の進捗状況は。

A 12月いっぱいには工事完了の予定。

Q 上市駅の観光案内所の改善に役立っているため、県内12市町の観光案内所を見学してきたとのこと。学ぶべき点や取り入れる点は。

A 必ず建物や窓口に、インフォメーションマーク（「i」や「？」の記号）が掲げられている点。すっきりとしたデザインで、ガラス窓などを通じて中の様子がよく分かる点。とりわけ城端駅の観光案内所は、狭い空間を有効活用しており好印象。

建設課

Q 下水道の森尻処理区を中新川公共下水道へ接続する計画は。

A 平成29年に測量・設計し、平成30年から工事に着手。3カ年での完成を見込む。

Q 補正予算に計上した道路改良の場所は。

A 白萩西部小学校の北側道路と広野新地区の道路で拡幅を行う。

Q 都市計画の用途地域見直しの内容は。

A 住宅地における工場の増減を踏まえて見直しを行うもの。

かみいち総合病院

Q 補正予算に計上した防犯カメラの設置場所は。

また、既存の防犯カメラの設置状況は。

A 南病棟3階の乳児室に設置する。主に建物外部に10カ所設置済みであるほか、精神科病棟に設置している。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

視察報告

アルプス縦貫トンネル 促進特別委員会

(10月4日・5日)



国土交通省に陳情

「何回行っても何も変わらないのに、毎年行く意味あるの・・・。」と問われる中、今年も国土交通省北陸地方整備局（新潟市）と長野県大町市に向いた。今年はず年と比較して、何かスッキリした気分が帰路につ

いた。
国交省では今年度より担当者が代わり、全国の長大トンネルや費用対効果の説明、10年ほど前の富山勤務時からのトンネル構想の認知、更には高田工事事務所長時の親不知付近の全面通行止めによる迂回路の

必要性など、具体的な話が多かつた。これまでの「お伺いしておきます。」のみの返答とは違い、困難な中にも今後の上市町がなすべき指針を示して頂いたような気がする。陳情であった。



大町市議会と意見交換

また、大町市では昨年と同様のスタッフで、各々本音の突っ込んだ意見交換ができ、トンネル以外にも予定時間オーバーで議会全般に渡っての意見交換もさせて頂いた。

その事や前日の国交省での対応の印象が、委員全員スッキリした気分が帰路についたのかもしれない。事業としては未だスタート地点にも立っていない状況ではあるが、委員会として今できる事を着実にこなし、今後共、継続的に陳情、意見交換を重ねて行きたいものである。

議会運営委員会

(10月17日・18日)

新潟県佐渡市では、教育長の教育行政方針の所信表明が行われていた。

将来の人間形成の基礎の学校教育

年々少子化が進む中、学校経営の難しさ、小中一貫校の推進が増える傾向にある。一方で、「いじめ」問題に歯止めがかからない状況。

今後、学校教育をどのように捉えていけば良いのか、最大の関心事である。

上市町でも新年度から取り入れたらと思う。

議会運営

佐渡市議会では22名で8会派があり、代表質問が行われている。代表質問、一般質問には回数制限はなく、1日4名で4日間位かかり、夜の7時頃までかかることが多々ある。また、委員長報告に対する質疑は活発に行われている。

上市町議会は8人の1会派だけだが、必要によっては代表質問を行ってはと思う。

議会改革については、基本条例の策定に向けて議論されているところだ。なお、本会議の公開についてはケーブルテレビの生中継、夜の録画放送が実施され、一定例会あたり30名程度の傍聴があるのは羨ましい限りである。

一般質問

創生総合戦略を重点に 29年度予算編成に努めよ

酒井 桂之議員

平成29年度予算編成は

議員 平成29年度予算を
どのように編成するのか。

町長 前年度当初額以下
に抑え、第7次上市町総
合計画、まち・ひと・し
ごと創生総合戦略の施策
に重点的に予算配分を行
い、予算編成に努める。
議員 財源確保をどうす
るのか。

町長 地方財政措置の把
握や補助金等の確保に努
め、限られた財源の中で
必要な施策を行う所存で
ある。

議員 主なプロジェクト事
業はどのようなものか。

町長 別表(←参照のこと)。

地方創生の取り組みを
どう進めるのか



児童の登下校の安全教育

伊東 俊治議員

議員 危険を考えさせる
教育の徹底を。

教育事務局長 全国各
地で登下校時における交
通事故のニュースを目にす
る中で、日頃より各校下
の皆様には登下校の際に、
安全パトロールや見守り隊
など、子供たちが安心し
て学校に通うことができ
る環境づくりについてご協
力をいただいている。

各学校においては、右
側歩行を原則に、横に広
がったり、ふざけ合ったり
せず、お互いが交通ルール
について注意し合い、自分
の身を守ることをねらい
とした登下校時の交通安
全指導や教員やPTAによ
る街頭指導を行うとと
もに、子供たちが自転車
の正しい乗り方やマナーに
ついて学習する場や親子

で話し合う機会を設ける
など、交通ルールに関す
る指導を行っている。

なお、通学路において
は路側帯が児童の進行方
向の左側のみにある場合
や、ガードレールが片側
だけに設置されている特
殊事情もあり、左側を通
行している場面もあるが、
道幅も狭く、危険な箇所
もあることから、引き続
き交通ルールの徹底を図
るとともに、通学路の危
険箇所を周知するなど、
子供たち自身が危険回避
と状況判断ができるよう
に、更なる安全指導に努
める。



またまた変わる農業政策 植樹祭・交通安全は

勝戸 謙議員

平成30年度から減反廃
止対策は

議員 減反廃止後の上市
町農業は。

町長 国の動向を注視
しつつ町として廃止後の
新制度について今後の情
勢の推移を見極め、農家
の皆さんへ伝えて行きた
い。また農業経営の基盤
強化と経営安定化を図る
ことが重要であり、県・
アルプス農協等関係機関
と連携し農業対策を進め
る。

議員 作物別支援対策は。

産業課長 町単独事業の
里芋の種芋、白ネギ、しょ
うが、大麦、大豆の助成。
県単事業、里芋、ナス、
ネギ、ももの助成をして
いる。平成30年度以降も

継続したい。

議員 農業団体の育成は。
産業課長 今後も積極的
に応援していく。



稲刈りの終わった師走の田んぼ

全国植樹祭上市町では

議員 平成29年5月28日
魚津市をメイン会場とし
て開催される植樹祭に際
し、当町の事業内容 特
に会場、参加人員、植樹



平成29年度

当初予算プロジェクト事業

◎にぎやか・上市

- ・(仮称) 上市スマートインターチェンジの整備
- ・町道和合・柿沢線等道路改良事業
- ・橋梁補修事業
- ・森林セラピーツアーの販売拡大
- ・森林セラピーガイド等の育成等
- ・「地方創生人材支援制度」の活用
- ・「地域おこし協力隊」の活用
- ・首都圏を対象とした移住セミナー
- ・定住促進に係る助成制度の活用

◎すくすく・上市

- ・上市中学校体育館床の大規模改修
- ・教育支援体制の構築(障がい児支援等)
- ・上市黒川遺跡群の保存整備事業
- ・全国中学生カヌー大会開催費
- ・こども医療費の助成
- ・学校給食費の助成

◎あんしん・上市

- ・下水道事業(森尻処理区から中新川公
共下水道への接続管渠を整備)
- ・水道事業(丸山配水場耐震・更改工事)
- ・かみいち総合病院医療機器の更新
- ・市街地の雨水排水対策
- ・消防団車両の更新



児童の下校風景

祭後の公園管理の3点を問う。

産業課長 会場は丸山総合運動公園第3駐車場北側広場、約2000㎡、人数は県で取りまとめ中だが、植栽本数から推測すれば、250人程度が想定される。公園管理は、当公園の指定管理者と協議の上引き続き管理を依頼する。



植樹祭会場予定地

全 これでよいのか交通安全

議員 毎日1回は目にする交通事故の、テレビニュース。一向に減らない死亡事故。各種団体の協力を戴き、1年を通じ

て練り広げられている、交通安全運動。より多くの町民が参加し、安全運転の意識の高揚を図るべく開催日の検討を願う。

町民課長 春・夏・秋・年末の年4回全国交通安全運動が、上市警察署、交通安全協会、老人クラブ等、関係機関、各種団体参加のもと、街頭活動による交通安全の啓発に努めている。なお春と秋に行っている「交通安全出動式」の、実施方法については今後検討をしたい。



みんなが見ている安全標識

一般質問

インター建設と産業や観光の振興 小学校のプールの現状は

平井 妙子議員



議員 スマートインター建設事業は。
町長 地元説明会を行い、路線測量に着手している。

企業誘致や道の駅、ビジネスホテル誘致も含めて様々な活用方法を検討している。
議員 小学校プールの現状と建築年数は。
教育長 上市中央小学校は昭和43年度に建築し



上市中央小学校プール

47年が経過。白萩西部、南加積、陽南小学校のプールは再塗装未実施の状況。当面の整備はプール層の塗装などが中心。
議員 プール管理棟の現状は。
教育長 古いままのトイレは、近くの改修洋式トイレなどを活用して対応。今後改修を進めていく。

高齢者の免許証自主返納時の特典 花の名所づくりで知名度アップ

堀田喜久男議員

自動車運転免許証自主 返納時の特典は

議員 高齢者による加害事故が多発傾向にある。運転免許証自主返納時の特典は何か。

町民課長 満65歳以上の方を対象に、平成22年度より、一人1回有効期限3年間の「町営バス無料乗車証」を交付している。免許証の返納に迷っている高齢者の不安を少しでも解消できるよう、今後住民に周知等、推進対策を検討したい。



北アルプス文化センター

公共建造物の点検は

議員 不具合が見受けられる建物もあるが、定期点検の時期、内容はどうか。
なっているのか。

教育を問う

田中 義則議員

国際学力調査

議員 二つの国際学力調査の公表をうけて、教育長の所信を問う。

教育長 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)は、国際教育到達度評価学会が4年に一度、小学4年生と中学2年生の算数・数学と理科の基礎学力を測り、学校のカリキュラムで習得した知識技能の到達度の測定に重きがおかれている。

国際学習到達度調査(PISA)は、経済協力開発機構(OECD)が3年に一度、義務教育終了段階にある15歳の生徒を対象、日本は高校1年生を調査、読解力と数学的・科学的な知識・技能の活用力や課題解決能力を調べることに重きがおかれている。

それぞれ目的とすると

全国学力テスト

議員 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果は。

教育長 この学力テストの狙いは、他校との比較にあるのではなく、得意

町の伝統行事

議員 伝統行事町流しをどうとらえるか。

産業課長 各種団体等が中心となり継承している。

議員 子供達の参加は。

教育長 子供たちは伝統文化を含め、地域の特徴ある取り組みを学んでいる。

しかし、郷土芸能を継承していく時間を確保するには課題がある。

議員 精霊やぐら焼きと町流しで観光誘致は。

産業課長 町流しや精霊やぐら焼き、招来魂は伝統文化で、未来へ繋ぐことは私たちの使命である。団体、企業、保育所等へ参加を呼びかけていく。



精霊やぐら焼き



森林セラピー

議員 森林セラピーとアイデア事業は。

産業課長 富山地鉄サーピス(株)が販売開始し、ツアーをJR東日本グループ(株)びゅうトラベルサーピスへ業務委託し、モニターツアーを実施。

今後モニター商品を積極的にPRし、誘客を推進する。

財務課長 常時の点検が必要な設備は、専門業者に委託し、適切な運用・維持管理に努めている。

特定の保健福祉総合センター、北アルプス文化センターなど11施設は3年毎に報告義務がある事から、当該年度に予算化して実施。不具合があればその都度対応している。

花の名所づくり

議員 町民一体となり緑化意識を高め、壮大な夢をもつて、花の名所を構築できないか。

産業課長 遊休農地、耕作放棄地への花の植え込みで、住民の緑化意識を高めながら、花の名所を構築していく

取組むとして重要だ。「花の名所づくり」で場所の選定や運営・管理には、行政と地域住民、民間企業、



構築したい「花の名所」イメージ (合成写真)

ボランティア団体等が連携を図ることが必要不可欠。町として、将来観光PRとして花の名所づくりにつながるよう、意欲がある方がいれば支援を検討して参りたい。

議員 私のイメージは、舟川新のチューリップ、菜の花、満開の桜の背景に残雪輝く朝日岳のある4段染めの風景。

町長 上市町に不足しているものは『花』である。町も花の名所に対して十分認識している。しっかりと取り組んでくれる人がいれば応援したい。

不得意を知って、学習意欲の向上につなげることにある。

今年度は、小学校は国語Aが全国平均を上回っているものの、国語B、算数A、Bは全国平均を下回っている。

中学校は、国語A、B、数学A、Bがいずれも全国平均を上回り、県平均でも国語Bを除き、上回っている。

学習状況調査では、全国や県と比較して、スマートフォンなどSNSやインターネットの利用時間が多く、学校の授業時間以外に普段の家庭の勉強時間が少ないとのデータが出ており、学校、家庭、地域が連携し、情報機器の利用制限や、家庭においても、読書や新聞など少しでも文字に触れる機会を増やせるよう働きかけて参りたい。

教育機会確保法

議員 教育機会確保法の成立を受け、町の対応に影響は。

教育長 12月7日に成立した教育機会確保法は、当初はフリースクールの学

習についても義務教育として認める制度まで検討がされていたが、反対意見が強く、大幅に修正され、フリースクールの学びの重要性を認めつつも、児童生徒の状況に応じた情報提供や助言を促す内容に留まった。

当町は、不登校の生徒への対応は、これまで同様に様々な学習の場についての情報提供ならびに一人ひとりにのカウンセリングを行うなど、支援の充実に努めて参りたい。

再質問

議員 スクールソーシャルワーカーの現状。

教育長 上市中央小学校と上市中学校へスクールカウンセラーが週1日、県から派遣、また町内の中学校を担当するスクールソーシャルワーカーが週2日、県から派遣されており、適応指導教育など適宜相談に応じている。不登校やいじめ問題の対応は、家族を含めたケアが必要とされることから、法施行により、一層の充実が図られることを期待している。

一般質問

上市町観光案内所の現状は

宝嶋 洋子議員

議員 利用者の1日、1

カ月平均、町内、町外、

県外の数は。

産業課長 月平均360

名あまり。電話での問い

合わせを含め、月平均

640名あまり、その内

訳は、町内58%、県内24%、

県外18%となっている。

議員 店内にある商品の

売れ筋、人気商品は。

産業課長 上市でしよ

うが、薬膳カレー、Tシャツ

に人気あり、リピーター

もある。

議員 「つるぎくん」グ



売れ筋ベスト3

ズの新商品の販売は。

産業課長 ぬいぐるみス

トラップ40個、ピンバッチ、

ミニタオルも20個以上売

り上げている。

議員 「つるぎくん」グ

ズや町の特産品をカタロ

グ・パンフレットにしてはど

うか。

産業課長 観光協会ホ

ムページの電子カタログに



つるぎくんグッズ新商品ほか

掲載及び広報などでPR
していく。町の保育所及
び、福祉施設に、展示用
としてプレゼントする予

農林業の後退と野生動物の被害・対策は

碓井 憲夫議員

**ツキノワグマが町部に
おりてこない対策は**

議員 農林業の後退は五

位尾、松谷など山手の集

落と山林の衰退をもたら

した。野生動物が畑を荒

らし、町部まで進出して

いる。温暖化によるイノ

シンの拡張も焦眉の問題

である。自治体の力量を

超えるものがあるが、住

民と共同して取り組めば

成果を期待できる。

ここまで来てよいという

地帯(ゾーン)にナラ、ミ

ズナラ、ブナ、栗などの

植栽を。

町長 水と緑の森づくり

税事業において、地元集

落や森林所有者等からの

要望により、県が事業主

体となつて伊折地内にお

て平成24年度から27年度

の4年間で約1haの山林

で3250本のコナラを植

栽し、保育作業として、

毎年下刈りを実施してい

る。

議員 南加積・柿沢地区

など他地域にも拡大して

ほしい。

**卒業したら故郷に戻る
給付型奨学金制度を**

議員 少子化、人口減

対策は政治の根幹の問題

だ。高校を卒業と同時に

都会の大学に進学し、就

職も県外。高校を卒業し

たら県外に行き帰郷しな

い状況を改善しなければ

ならない。卒業したら故

郷に戻ることを条件に返

還不要の奨学金制度の新

設をしようか。

催しの国際化で多文化交流を

成川 友仁議員

**フォトログに外国人を
態勢を整え誘客する**

議員 今年上市町で2回

目の開催となったフォトロ

ゲイニング大会(地図に

示すチェックポイントを証

写真真に収めつつ巡る競

技)と初開催のアグリ運

動会(農家の収穫作業を

競技に見立てた催し)は、

外国人誘客の大きな可能

性を秘めている。町とし

ての考えは。

町長 フォトログゲイニング

上市まちのわ2016は、

昨年を上回る盛り上がり

を見せた。参加した77

チーム248名の年齢層は

1歳から68歳までと幅広

く、居住地は北信越をは

じめ関東・東海といった広

範囲に及んでいる。アグリ

運動会には、町内外から

4家族12名が参加した。

これらの競技は本来、

年齢・性別・国籍を問わ

ず幅広い方々に楽しんで

ただける特長を備えてい

る。今後受け入れ態勢の

整備を行いつつ、外国人に

も宣伝を行い誘客につな

げ、二層にぎやかな大会と

して開催を継続する。



フォトログゲイニングの開会式にて



定。

議員 市姫スタンプラリーの進み具合と案内所の今は。後は。

産業課長 12月9日現在、商工会に22件の応募があり、この事業により、案内所を利用された方の中には、スタンプを押すだけでなく、お土産を購入していかれるケースもあり新しい方々に観光案内所を知ってもらえる、きっかけとなっている。

観光案内所の更なる

利用促進のため、県内観光案内所の状況を参考にし、外からも中の様子がわかるガラス面のデザイン化および季節に応じたレイアウトを工夫するなど決められたスペースを有効活用し、町民から愛される、観光客も利用しやすい、観光案内所作りに取り組んでいきたい。

町長 昭和31年度に給付

型奨学金制度を設けこれまでに毎年度15名から20名程度に給付してきた。貸与型奨学金制度の導入を掲げ、今年度より制度の拡充を図った。定住人口の増加を図ることを目的に、本町に引き続き1年以上居住し、前年度の町民税を納付するなど一定の条件が整った者は、1年間に返還すべき額の半額が免除される。

大岩観光旅館・店舗の経営者募集は

議員 大岩日石寺門前の旅館、店舗が後継者不足のため閉店が続いている。「地域おこし協力隊」制度を活用して旅館、店舗の経営を引き継いでいた

だけの方を町のホームページで全国に募ってほしい。

町長 町としても大変危

惧している。大岩地域の活性化のため、県の補助事業「歴史と文化が薫るまちづくり事業」を活用して、百段坂の補修整備

や、千巖溪遊歩道の整備、案内看板の整備など、協力してきたが、現状、厳しい状況が続いている。

現在、旅館等を所有されている方々をはじめ、地域の方々からの活性化策の提案と、協力隊の受け入れ協力体制の構築により、大岩地域活性化の担い手として、制度の活用が可能になるものと考えるので、町として相談に応じ、必要な支援策などを提案してまいりたいと考えている。



特徴ある英語学習を

ALTや専科教員活用

議員 上市町の初等・中等教育における、英語の学習状況は。学力向上の方策、意思疎通を図る会話、ふるさと学習との連動といった点で特徴はあるか。

教育長 小学校では5、6年生を対象に、週1時間外国語活動を行っている。中学校では週4時間の英語授業のうち、1時間はALT（外国語指導助手）が加わった会話中心の授業となっている。

県教育委員会から派遣されている英語の専科教員の継続派遣および増員を要望する。町予算では、アメリカ人と海外在留経験をもつ日本人に、小学校での講師を依頼している。

黒川遺跡群の活用を

議員 上市黒川遺跡群が

国史跡指定10周年を迎える今秋、恒例の黒川フェスティバルの一環で記念フォーラムが開かれた。遺跡群のあり方と一層の活用に向けた方策を伺う。

教育長 国史跡指定後、町では段階的に事業を進め、今年度から具体的なハードウェア整備に着手。当遺跡群は黒川の宝であると共に、上市町全体に関わる史跡であると考え、関係部署や民間団体との連携を見込んでいる。史跡の活用は催事だけでなく、多種多様な形態や表現が考えられるため、有識者を交え協議を重ねている。



国史跡指定10周年記念フォーラム

一般質問

人口増対策を いじめの対策対応を

伏黒日出松議員

議員 人口増対策を。

福祉課長 「不妊治療」について平成14年度の創設以来、104組の夫婦から申請があり、60人の子宝が誕生している。

健康育児について1200件の相談があり、妊娠に関して15件いずれも不妊治療。

福祉課長 「出産祝金」の増額、「七五三祝金」の新設は見送り。

福祉課長 保育料の第2子以降の所得制限なしの無料化は考えていない。

福祉課長 入通院費の高校生までの助成については、新年度は予定はない。

議員 いじめの対策対応は。

教育長 上市町においても

「いじめ」はある。

金品を要求する「いじ

め」はない。

「いじめ防止基本方針」を設定。

「上市町いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、今後も子どもたちの健全育成に向けて情報共有を進めるとともに、一人ひとりが人としての権利をしっかり守るとい意識を持ち、「いじめ」の防止や解消に向け、鋭意取り組んで参る。

議員 ため池の耐震不足は。

産業課長 大小19カ所のため池の内、耐震不足の4カ所「片地の池」「西種の「南の池」「眼目の池」堤谷の「七郎谷の池」のほか、現在耐震調査中の2カ所は積泉寺の「奥の池」東種の「尾窪の池」。

特に緊急性の高い「七郎

災害に備えて命を守る行動を

酒井 恒雄議員

議員 平成29年度の予算規模を伺う。

町長 昨年同様、原則前年度当初予算額の範囲で計上する様通知しており新年度予算規模は、約95億4千万円と同程度の規模で編成目指す。

議員 本年は自然災害の多い年で高齢者が犠牲になる事例が有り、この様な観点から見て本町の防災減災対策について伺う。

日頃から、町民が防災意識を高めて頂く事が肝要で有り命を守る行動が大切で指定避難場所での集団体験ができないか伺う。

総務課長 大規模災害時老若男女が一同に生活が余儀なくされ避難所体験訓練が重要と認識しており自主防災会連絡協議会、区長協議会などを通

して、その旨を伝えたい。

議員 防災訓練は屋外だけでなく人の集合する公共施設、火災を想定した屋内での避難訓練を伺う。

総務課長 施設内での災害発生は十分想定される事から施設を管理する町や健康文化振興財団の職員に誘導を迅速、的確に行う訓練を徹底指導したい。

議員 熊本県での震災被害地、益城町を視察されたい見を伺う。

又、防災減災の為に町民を守る為訓示しなければならぬ事、これだけは成し遂げなければならぬ事業等伺う。

町長 倒壊家屋等の建物被害がほとんどで有り、阿蘇大橋は崩落し幹線

管内視察

総務教育常任委員会

(11月21日)

〔白萩西部小学校〕



小規模学級での授業内容を見せて頂いた。

少人数での長所と短所はあるものの、教師の他校と変わらぬ熱心な指導が児童にも伝わり、それぞれ生き生きとした態度で授業を受けている姿が印象的だった。



〔南加積小学校〕

全国緑の少年団連盟の「みどりの奨励賞」を上市花とみどりの少年団が受賞。



2016緑の少年団交流大会in北海道(7月30日(8月1日))に参加した際、活動発表した南加積小学校6年吉田涼さんと井原綾音さんに改めて活動発表をして頂いた。

2人の堂々とした態度で発表する姿を見て、日頃の活動への取り組みと、交流大会参加時に発表している姿が、容易に想像できるように思え、とても感動した。

谷の池」については、29年度から3年間で整備する。

ため池管理者の方々へは安全管理の徹底を依頼して、日常の安全管理の中で異常が発見されれば速やかに対応する。



七郎谷の池

発電システムはいつも大丈夫か

議員 手術中分娩中に停電により、自家発電システムに切替えたときに作動しないということはないか。

病院事務局長 日常の外観検査を月2回、運転点

検を月1回、専門業者には3年に1度の各点検管理を行っているので、手術や分娩時の万全を期している。

議員 前立腺がんの検査料は。

病院事務局長 検査料はおおむね2000円前後と安価なので、助成は考えていない。

議員 橋、橋梁は大丈夫か。

建設課長 199橋があるが、26年度より第2回目として目視による点検を実施。緊急措置を講ずるものはない。

議員 橋、橋梁は大丈夫か。



かみいち総合病院

道路は寸断され、普段の生活とは、程遠くその不便さを痛感した。町民の皆様には日頃から災害に対する備えを行って頂き、身の危険を感じた場合早めに行動を取って頂きたい。また成し遂げなければならぬ事業は当町は東西を河川に挟まれてお

り、地震時や河川氾濫時には孤立する恐れが有り、スマートインターチェンジが設置される事に依り、非常時に於いて二次確保路線として高速道路と直結、早期の救援活動が可能、減災に対するインフラ整備になるものと確信する。



熊本地震の被災状況



産業厚生常任委員会 (11月30日)

【観光PR看板】

地域連携「上市まちのわ」推進事業で、町のイメージアップによる交流人口の拡大を狙い上市駅、新相ノ木駅、新宮川駅の3駅ホームに観光PRの看板の作成および掲出状況を視察した。



【室内大型遊具設置】

女性起業促進と地域にぎわい創出を目的としての女性起業促進・安心子育て&生涯健康の砦「カミール丸」創設事業。上市町まちなか交流プラザ内こども広場拡充のため、2階展示場に室内大型遊具が設置された。



今回、地方創生加速化交付金によつて整備された2件の状況を視察した。この整備が、今後の上市町の賑わいや女性による起業の促進、並びに観光等における交流人口増に繋がっていく事に期待する。

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

通学路の安全確保

平成25年12月議会質問

その後

かつて死亡事故や重大事故多発交差点。児童の通学路になっていながら信号待ちの児童を護る防護柵がなかった。

この要望の後、3方に防護柵が設置され、日々通学児童を見守っている。



防護柵を新設した交差点

観光PR大型看板

平成28年9月議会質問

その後

北陸新幹線・北陸自動車道沿線には県の規制があり建てる事が困難。地鉄新相ノ木、上市、新宮川3駅ホームに各3枚の観光PR看板が設置された。列車で通りかかると観光客の目にもとまり、『上市町』の知名度アップにもつながるものと期待する。



大型観光PR看板

元気な上市町を創る・青年起業家とのシンポジウム 11月18日(金)

●各パネリストの発言要旨を

お知らせします。

☆スタジオじゆう・児玉巧さん

体育で健康、楽しさ、元気を興す。学校、保育所、カルチャー教室、介護現場などを訪問し体育、ヨガの指導、普及を8名のスタッフで運営している。富山健康科学専門学校とは連携させていただきたい。

☆プロジェクトデザイン：坂本龍生さん

白萩町営住宅に移り住んだ。富山ならではの香りを持つ立山山麓の樹木の間伐材からアロマを抽出して販売している。

☆旅館だんごや・滝川佐季子さん

金沢の旅館で2年間修業した。1人だけの宿泊という日もあるが、1人のお客さんでも大切にしている。後継者がいないために閉店する店舗、旅館が続く傾向にある。店舗、旅館経営を引き継いでいただける方を広く募っていたきたい。

☆お好み焼き・陽毬：中村陽恵さん

自分の店を持ちたかった。料理をつくるのが好きだったので現在の店を開業した。銀行、商工会、市姫東雲会、町の補助金などいろいろ助けていただいた。

☆松井エネルギーモータース：松井健彰さん

営業部長をしていた時は利益しか頭になかったが社長になってからは、給与・休日・地域貢献など、従業員が自慢できる会社にすることを主眼にしている。若い高校生をアルバイトとして採用したので、規制を緩和していただきたい。

地域振興懇談会(11月28日)

カミール4階ホールにて、上市町商工会と町議会による懇談会を開催した。

懇談会は北陸自動車道上市スマートインターチェンジ、アルプス縦貫トンネルの説明や意見交換に引き続き、町全体の商工・観光に関わる将来像について幅広く話し合いがなされた。



観光PRの具体策提案・発表

視点

18歳の有権者にインタビュー

上市高校7人の生徒と座談会

アンケート

選挙に行ったか

- ・「はい」 3名
- ・「いいえ」 4名

行ったのは

- ・自分の意思 2名
- ・自分の意思と親の勧めが半々くらい1名

行かなかったのは

- ・関心がない 1名
- ・その他 3名

その他の理由は

- ・選挙が分からない
- ・自分の中で意見がまとまらなかった
- ・候補者の公約が伝わってこなかった

政治への関心は

- ・ある 6名
- ・ない 1名

18歳の選挙権は

- ・早いと思う 1名
- ・良いと思う 4名
- ・義務教育終了時からが良いと思う 2名

11月25日放課後、主権者教育の一環として和やかな雰囲気の中で、昨年初めて選挙権を有した高校生の皆さんと意見交換をさせて頂きました。主な意見は次の通りです。

選挙は

- ・町の将来を考えるのには、良い事だと思う。しかし、県や国については良く分からない。
- ・自分の手で意見が言える事なので、選挙は必要だと思う。

議会・議員へ

- ・町民に選ばれた議員は、町のためにしっかり頑張っている。

上市は好きか

- ・多少は不便だが過ごし易い。特に、東京など大都市

の大気汚染や水が臭いなどの環境問題がない。何と云っても自然が一杯の上市が好き。

- ・南加積や郊外は街灯が無く、暗いと感じる所がある。しかし、南砺市や氷見市と比較すると上市町はまだ明るいと感じている。
- ・色々な人づきあいがうまく出来る良い町だと思う。

町への要望は

- ・買い物をする場所（店）が少ない。
- ・散歩などで郊外に出ると休憩する場所や飲み物の自販機が少ない。
- ・移動手段として車が必要だが、もっとバス運行を充実してほしい。



次回選挙には是非、全員が自らの意思で1票を投じて頂きたいものです。ね。

町民の声 紹介



東 種
廣田美智子さん

◆**議会に期待することは**
議会広報発行から毎回読ませて頂いておられます。議会の皆様は色々町民の為に活躍をされ、心から感謝しております。南部地区は高齢化が進み、寂しい地域になつてきました。種がもつと活力のある村になるよう、色々な面で議会の皆様の力と知恵を結集して頂きますよう、宜しくお願い致します。

種に生まれて70年。白萩南部地区は美味しい水、美味しい米に恵まれています。近くに里山ハイキングコースのハゲ山、三角山、千石城山、高峰山、大辻山があり、体力作りには良い地区です。昔からの源田（あわらだ）の歴史も語り継いで行かなければならないと思っております。

野 島
児玉 巧さん



◆**議会に期待することは**
県外の方が移住してまでも住みたい町にするために、年齢や立場を超えた対話を繰り返していただきたい。「違いを認め、生かし合う」町づくりを目指し、町外からの移住者を受け入れるには、まず「どういふ町なら住みたいか」を聞くことだと考えます。

私は、この度の南加積保育所の民間移管先として社会福祉法人光南会の設立を目指して奔走しています。福祉の仕事の基本は、『弱くても人間らしく、自分らしく生きる』お手伝いをすることだと考えます。保育所に来られるのは、就学時前の柔らかい体と心と頭を持つ子どもたちです。それらの個性と大人である保育士がどう向き合い、学び合うかが大事です。これからも南加積保育所は、地域の宝でもある子どもたちが伸び伸び楽しく過ごせる環境を提供していきます。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、

<http://asp.db-search.com/kamichit/>

議会広報特別委員会

委員長 堀田喜久男
副委員長 勝戸 謙
委員 宝嶋 洋子
平井 妙子
伏黒日出松
酒井 桂之

編集後記

3回の議会広報特別委員会を開いて、町村議会議長会広報研修会で感じたことを話し合いながら、①発行日を議会開催月の次月の15日に②表紙の写真を人物に③追跡レポート④町民の声⑤傍聴へのお願い⑥視点などの取り組みを図りました。

12月議会が始めて議長を除く全11議員が一般質問をしたので紙面の関係でいつもより掲載範囲が小さくなりました。

12月議会広報を1月16日に全家庭に届くように全力を挙げて編集に取り組みました。議会広報へのおたよりをお待ちしています。

(酒井 桂之)